

日本機械学会 機械遺産申請書

頁

1 / 2

右の欄は事務局で記入します

申請者		提出年月日	年 月 日
申請者連絡先（所属・〒・住所・電話）		会員資格 <input type="checkbox"/> 正員 <input type="checkbox"/> 学生会員 <input type="checkbox"/> 特別員 <input type="checkbox"/> 会友	
申請者・推薦者 E-mail:			会員 No. （注：申請者は原則として日本機械学会会員に限ります）

ふりがな					
資料名称 (一般名称)					
欧文名称					
カテゴリー	1. Site	2. Landmark	3. Collection	4. Documents	(該当するものに○印)
分類名 (本会機械遺産ホームページを参照のうえ、いずれかを選択してください)		分類コード (コード表より記入して下さい)		製造年(西暦) (注1, 2)	年
資料の所在地	〒・所在地・施設名(会社・博物館等)				
資料の所有者(または管理者)					
連絡先(本会からの照会に対応可能な方を記入して下さい)					
所属・住所・電話・FAX・E-mail					
E-mail:					
申請理由	(申請者として認定該当項目に○をつけてください。複数選択可)				
	1. 独創技術または新規性(世界初, 日本初) 2. 性能面(当時世界一, 同 日本一) 3. 品質面 4. 意匠・デザイン面 5. 国民に親しまれ、生活文化の向上に貢献 6. 地域特有の歴史的、文化的、技術的価値 7. 伝統技術の保存・継承 8. その他、特筆すべき価値がある()				
文化財指定・登録	無・有 (A国・B県・C市・D町・E村)				年指定・登録)
他学協会等の遺産認定有無	無・有 [(年指定・登録)]
遺産の現状	A 全体を保存公開 B 一部を保存公開 C 保存検討中(保管, 非公開) D 使用中 E 放置 F 廃棄・売却予定 G その他()				
申請物の概要	(機械遺産として申請するに至った理由を2~300文字以内で述べて下さい)				

概要（特徴・由来・変遷・概寸など）

写真（撮影者・撮影日・場所付き）を以下に表示または別添してください

量産品の場合、累計製造台数（個数）または／および市場シェアの情報（該当するもののみ、注3）

本資料出現による影響（後発品、類似品の概要、特許紛争など）（該当するもののみ、注4、5）

保存状況、公開状況など（注6）

添付資料一覧

申請書作成日（申請日と異なる場合のみ記入）

※申請書記入上の注意

- (注1) 申請品の製造年(公開, 建設年)等を西暦で記入して下さい。複数の場合はそれぞれについて記入して下さい。
- (注2) 製造年等の証拠(銘板, 特許情報, 新聞記事等)は, 可能な限り本会が確認可能な情報を提供願います。
- (注3) 販売台数やシェアの情報(本申請物の販売台数, または後発製品を含めたシリーズ品としての販売台数などを記入して下さい。単体や建造物などの場合は, その後の類似品の製造実績などを記入してください。)
- (注4) 商品なら, 類似製品の販売状況(先発, 後発メーカーなどの情報) たとえば本申請物が後発であっても, 機械遺産としての価値なしとは言えないので, ありのままを記入して下さい。)
- (注5) 特許紛争などの有無, 有ならその顛末(たとえば紛争に負けても, 機械遺産としての価値なしとは言えないので, ありのままを記入してください。)
- (注6) 一般市民の本申請物へのアクセス状況(「常設展示」「一般公開日に展示」「博物館の倉庫に保管中」「電話問い合わせがあれば, 随時案内」など, ただし, 公開個人の所有物(コレクションなど)は機械遺産の対象になりません。一般公開していることが原則です。)
- (注7) 申請書の年号記述は, 製造年欄を除いて, 和暦西暦でも構いません。